



平成 27 年 11 月 6 日

各 位

会社名 ホ シ デ ン 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 古 橋 健 士  
(コード番号 6804 東証第一部)  
問合せ先 取締役社長室担当 本 保 信 二  
(TEL 072-993-1010)

営業外費用（為替差損）の計上、特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し、  
及び業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）におきまして、営業外費用（為替差損）の計上、特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しを行いましたので、お知らせいたします。

また、平成 27 年 8 月 7 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

加えて、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

為替相場の変動により、平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間におきまして、営業外費用に為替差損 60 百万円を計上いたしました。

なお、上記は平成 28 年 3 月期第 2 四半期末時点の為替差損であり、今後の為替相場によりこの額は変動いたします。

2. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社および当社連結子会社が保有する固定資産につきまして、将来の回収可能性を検討いたしました結果、当期におきまして、固定資産帳簿額を回収可能額まで減額し、12 億 97 百万円を減損損失（特別損失）として計上しております。なお、上記に伴い平成 28 年 3 月期におきまして、約 4 億円の固定費（減価償却費）が削減される見込みであります。

3. 繰延税金資産の取り崩し

繰延税金資産の回収可能性を見直しました結果、法人税等調整額を 17 億 76 百万円計上いたしました。

4. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	77,000	1,000	500	600	9.71
今回実績（B）	77,468	1,422	1,419	4,711	76.28
増減額（B - A）	468	422	919	4,111	
増減率（%）	0.6				
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 27 年 3 月期第 2 四半期）	56,832	2,762	1,312	1,437	21.74

差異が生じた理由

売上につきましては、ほぼ想定通りだったものの、原価低減が想定通りに進まなかったことや、スマートフォン向け関連部品で、市場が高級品から中・低級品へシフトされ、利益率が悪化したことなどにより、営業利益が悪化いたしました。また、第 1 四半期では為替差益を計上しておりましたが、為替相場が円高に傾いたことにより為替差損となり経常利益も損失が拡大し、さらには減損損失、繰延税金資産の取り崩しにより親会社株主に帰属する四半期純利益も悪化いたしました。

5. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）注					
今回予想（B）	144,000	2,000	1,900	5,400	87.64
増減額（B - A）					
増減率（%）					
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	148,237	2,800	1,819	122	1.88

注：平成 27 年 8 月 7 日公表において通期業績予想を未定と修正したため「 」と表示しております。

修正の理由

スマートフォン関連向けやアミューズメント（ゲーム機器）関連向けで、受注の回復が当初想定より遅れていること、および原価低減の遅れ、減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩しにより業績予想を修正いたします。

なお、昨今の為替相場の状況を勘案し、前提レートを 1 U S ドル 122 円から 120 円に見直しております。

上記の業績予想は、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

以 上